



宮崎県議会議員
田口ゆうじ
議会だより



皆様におかれましては、ご家族お揃いで素晴らしい新年をお迎えのことと思います。昨年末には、突然の総選挙で民主党は大敗し、政権政党に終止符を打ち、本県は民主党の国会議員が、一人もいなくなりました。厳しい審判を受けましたが、この3年3か月は本県に大きな成果をあげました。東九州道は大きく前倒しで建設され、細島港の重点港湾指定、東九州メディカルバレー構想の総合特区指定、ドクターヘリをはじめ医療環境の大幅な改善等々、本県発展の種まきと安心安全の提供が出来ました。

しかし、結果は真摯に受け止め、県民の信頼回復に努めるため日々精進して参ります。本年も引き続き叱咤激励を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに、本年が災害のない安心安全の年となりますことと、皆様にとりまして実り多き1年となりますこととお祈り申し上げます。

11月議会のご報告

11月21日～12月10日までの20日間に渡って開催されました。一般会計補正予算をはじめ30議案を可決しました。口蹄疫に関わる埋却地の農地再利用のための測量費、台風15号被害の治山事業費、来春のプロ野球キャンプで4球団による練習試合開催支援費等の4億992万円で、この結果、総額は5799億1891万円となりました。

また、私は12月3日に一般質問しました。新聞記事をご覧ください。

東日本大震災の大津波から小中学生のほぼ全員が避難し無事だった「釜石の奇跡」を取り上げ、「自ら避難した子どもたちの行動を見習うべきではないか」と質問。飛田洋教育長は、地震や津波、火山活動など災害別に防災教育推進校を指定し、抜き打ちの避難訓練などに取り組んでいる事例を紹介。さらに、大震災を教訓として「先進的な取り組みを積極的に取り入れて防災教育を推進したい」と述べた。



田口雄二議員（新みやぎ、延岡市区）

宮崎日日新聞（12月4日）



12月15日開通の延岡～北川間（小峰町）

東九州道が大幅な前倒しで次々に開通

12月15日に須美江～北川～延岡（18.4km、無料区間）、12月22日には都農～高鍋（12.9km）が開通しました。延岡～宮崎で残る1区間、日向～都農（20km）はあと1年で開通し、ようやく延岡～宮崎間が繋がります。延岡～大分・北九州間は平成28年度開通予定ですが、官民挙げて26年度開通に向けて運動中。

県北地域への設置

可能性、宮大との協議必要

県議会

来月4月に県立日南病院に開設する地域総合医療センターを、将来的に県北地域にも設置する可能性について、県は3日、日南病院の育成が軌道に乗っていく中で宮崎大学と協議する必要がある」との考えを示した。県議会定例会一般質問で、田口雄二議員（新みやぎ、延岡市区）に十持正弘福祉保健部長が答えた。

地域総合医療センター

同センターは若手医師数人を受け入れ、宮崎大学医学部から派遣された指導医の下で、外来や入院患者を診療する。

田口議員は「日南はこれまでの7年間で臨床研修医が1人だったが、来年度のマッチング数はいきなりの3人。センター設置が医学生に大きな魅力を感じさせたのでは」と、過去7年間で研修医が2人にとどまっている延岡病院への設置可能性を尋ねた。

十持部長は「センターで育成される医師は県内各地の公立病院や診療所に配置される予定。同時に将来は指導医としての活躍も期待できる。将来的には日南病院での総合医療センターの設置も考えていく中で、県北地域への設置の可能性を宮崎大学と協議する必要がある」と思っている」と応じた。

県議会

一般質問

観光資源を効果的に発信



田口雄二議員

古事記1300年
【田口雄二議員】医師確保に研修医の地域偏在が課題。
▽「チヨウサメ」販売への取り組み予定は。
▽古事記1300年「県内全域をまんべんなく取り上げるべき」。

【岡村農政水産部長】「チヨウサメ」養殖業者と協議して一元的に加工、販売する組織づくりを進めている。魚肉と県産ハーフをブレンドしたソーセージ「チヨウサメ」を開発するなど、加工業者との連携した新たな商品開発にも力を入れている。

【米原隆夫商工観光労働部長】古事記1300年「二ギノミコトやコノハナサクヤヒメの出会いの伝説が伝わる愛宕山、御陵墓と伝わる可愛岳、日向のお伊勢様と言われる大御神社などがある。ゆかりの地を巡るタクシツツアーを来年1月から実施する。今後も身近にある宝、神話をほしめとする観光資源を磨き上げ、効果的に発信することで観光客誘致につなげたい。」

「大きな役割果たしている」

旭化成OBの「はげまし隊」

県教育委員長ら高く評価

県議会定例会一般質問で、平成21年10月に岡宮中で始まった旭化成OBによる「はげまし隊」が話題に上った。10月に現場を視察した近藤好子県教育委員長は、授業支援以上の大きな役割を果たしている、飛田洋教育長も「熱心に取り組まれ

ていることが高い効果を生じている」と評価した。田口雄二議員の質問に答えた。はげまし隊は現役時代に電気や科学の分野で働いた旭化成OBが、ボランティアで数学や理科の授業を補佐。現在は市内4中学校に広がっている。

田口議員は「全国でも例のない延岡独自の取り組みとして大きく注目されている」として、視察の感想を尋ねた。近藤委員長は、授業後に隊員が呼び掛け、生徒と一緒に机の上に残っている消しゴム、すのこ後始末をしたエピソードを挙げ、「子供たちに新しい気持ちと学びを与えてくれた」と述べた。

夕刊テイリー新聞社（12月4日）

「古事記」に関する延岡の神話パートⅢ「笠沙山」

天孫降臨したニギノミコトとコノハナサクヤヒメが、初めて出会った所が笠沙山、現在の愛宕山です。慶長年間、高橋元種が延岡城築城の際、城山にあった愛宕神社を移設したことにより、笠沙山から愛宕山に改めたといわれます。二人はここで出会い結ばれ、海幸彦や山幸彦など3人の子供に恵まれました。二人のロマンスを記念して、愛宕山は「出会いの聖地」として伝えられています。



ニギノミコトとコノハナサクヤヒメの出会いに因んだモニュメント（愛宕山）

県政相談

ご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。

田口雄二

TEL/FAX:0982-26-1945 携帯:090-5021-7729
住所:〒882-0004 延岡市樫山町3-841-2
e-mail: gucci-yu@ma.wainet.ne.jp

【田口雄二ホームページ】 <http://www.yuji-taguchi.com>

田口雄二

検索

おめでとう宮崎牛 連続日本一!

昨年、全国和牛能力共進会において宮崎牛が連続日本一となり、口蹄疫からの復興を目指す本県にとって明るいニュースとなりました。関係者の皆様のご努力とご支援いただきました県民の皆様方に深く感謝申し上げます。

また、昨年古事記編纂1300年を記念して記紀編纂1300年事業がスタートしました。本県の観光、文化振興を盛り上げるために各地で様々な事業が盛大に開催されました。引き続き県民の皆様と共に盛り上げていきたいと思います。

本年も、県民目線で行動する県議会会派「新みやざき」として努力と研鑽を惜しませんが、がんばって参ります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

(代表 西村賢)



11月議会初日、全員が古代衣装で記紀編さん事業を盛り上げました

新みやざき走る！ 県政発展のため東奔西走!

「新みやざき」は9月9日県内調査(県北)、11月9日要望活動、11月19〜20日県外調査を行いました。

県内調査

延岡しるやま支援学校

延岡しるやま支援学校にて給食時の対応を視察。約200名の生徒それぞれの障害に合わせ、給食をミキサーしたりトロミをつけたりと介助される職員のご苦労を目の当たりました。

県林業技術センター内 鳥獣被害対策

最新の鳥獣被害対策について調査。いま山間部を中心に猪、鹿、猿などによる農林業への鳥獣被害が広がっています。被害拡大の原因は十分な鳥獣被害対策によるものも多いため、同センターでは農家等への細かな指導を続けています。



要望活動

東京

遅れている本県のインフラ、口蹄疫埋却地復興支援について農林水産省、国会内にて要望活動・意見交換を行いました。

県外調査(北海道)

円山動物園

札幌市円山動物園内「次世代エネルギーパーク」を訪問。太陽光や風力、木質バイオマス等を活用して動物園内のエネルギー補充や売電を行っています。市民が



旭川家具センター

本県の木材利用拡大のため、木材加工の先進地である北海道旭川市を訪問。家具センターや工場を訪問し、意見交換を行いました。デザイン性も高く、職人が丁寧に作り上げた家具を長く使うという美徳も改めて認識させられました。

旭川家具センター

北海道大学を訪問し、GPSを活用し無人で農作業を行うロボットトラクターを視察。広い耕作地だけでなく、急斜面や農地の点状する山間地でも利用可能とのこと。実用化への技術はほぼ確立され、実用化も近いところまで来ています。



気軽に訪れる動物園内に設置されており、動物保護の観点から地球の環境問題も強く意識させられます。

各議員登壇9月議会、11月議会本会議において所属議員全員が登壇しました。

9月議会(代表質問)



西村 賢 日向市選挙区

行政改革の推進について

問 行政改革(官から民へ)を進めるため、県民との協働や民間へのアウトソーシングを積極的に進めるべきと考えますが、知事の考えは。

答 知事 民間との協働等いわゆる民間活力の活用を図ることが大変重要だと認識している。このため、NPOなど多様な主体との協働や、公の施設を民間事業者等に管理していただく指定管理者制度の活用等について積極的に取り組む、効果的な行政運営に努める。

9月議会(一般質問)



徳重 忠夫 都城市選挙区

都城志布志道路整備促進について

問 都城志布志道路は県の約3分の1を占める経済圏を縦断する重要な幹線道路であり、災害時緊急輸送道路としての役割も担うが、整備促進の取り組み状況は。

答 知事 早期完成のために県、国、一体となった整備推進が重要であることから、国土交通省の道路局長にもお会いし、早期整備を要望したところである。今後とも機会があるごとに、国に対し、事業の促進を強く訴えていく。

11月議会(一般質問)



井上 紀代子 宮崎市選挙区

口蹄疫における埋却地対策

問 口蹄疫における、埋却地対策については、不安な声も多く、自分自身も国へ要望していくなど、特別な思いがある。埋却地周辺の環境調査の現状について伺いたい。

答 環境森林部長 地下水モニタリング調査(年4回)にて異常があった4か所について、毎月1回の詳細調査を行っており、地下水の臭気や有機物濃度は減少傾向にある。今後とも、関係市町、関係部局と連携し調査を継続していく。

9月議会(一般質問)



田口 雄二 延岡市選挙区

のべおかはげまし隊について

問 教育長はNPO法人「学校支援のべおかはげまし隊」を直に視察され、現場の雰囲気を含め、どのような感想を持たれたか。

答 教育長 はげまし隊の方々や教師が思いを一つにした熱心に取り組むのが高い効果を生じていると感じた。また、知識や経験を生徒達のために役立たせたという共通の志をもち、学校支援における哲学をもって取り組まれている点に感銘を受けた。

9月議会(一般質問)



渡辺 創 宮崎市選挙区

知事のリーダーシップについて

問 知事はこの県内で唯一、宮崎県政の進め方について「リーダー」としての付託を受けた方である。丁寧な合意形成も大事だが時には先頭に立ち、議論を引っ張ることも必要だと思いませんか。

答 知事 リーダーとしてこれまで度重なる災害や重要課題の解決に努めてきた。決断すべきときは先頭に立ち、引張って行くリーダーとしてありかたについて今後とも研鑽を積んでいきたい。

本県における医療費の増加

問 国民が必要な医療を受けることは重要であるが、国家的に医療費の増加が懸念されている。本県においての医療費の増加の状況はどうか。

答 福祉保健部長 本県は、平成21年度3,519億円、平成22年度は前年度より3.5%増(124億円)の3,643億円、平成23年度は前年度より2.4%増(89億円)の3,732億円となっている。

小中学校でのいじめについて

問 いじめの問題は、発生してからの対応だけでなく、いじめのない学校づくり、学級づくりの視点で取り組むことが重要であるが、未然防止の取組状況について。

答 教育長 いじめはどの学校でも起こり得るといって危機意識を持ち、全職員が情報を共有しながら対応している。また、児童会や生徒会など児童生徒の主体的な活動を通じて、規範意識の高揚や人権感覚の育成にも努めている。

福祉避難所の現状と今後の取組

問 知的障がい者・高齢者等災害時要援護者支援の取組は重要であると考えます。福祉避難所の設置について市町村に少なくとも1カ所は設置する必要があると考えます。

答 福祉保健部長 福祉避難所は現在13市町で40施設となっており、平成27年度までに全市町村での指定・整備を目標としている。今後とも未指定市町村への積極的な働きかけはもとより、指定数の増加に向けて推進する。

九州中央自動車道の整備促進

問 九州中央自動車道の早期建設は細島港からの物流や観光客の誘致等本県経済に与える影響が大きいと考えますが、取り組み状況は。

答 県土整備部長 指摘の通り、細島港と一体となった物流の効率化や産業・観光振興に寄与する大変重要な路線であり、10月に宮崎・熊本両県知事が政府与党、国土交通省等に整備促進を要望したところである。今後とも関係機関と連携し強く訴えていきたい。

県の広報戦略について

問 県外に向けた発信力を高めるために、いかにも行政の広報だということではなく、枠の中にはまらない斬新なアイデアや方法により広報・宣伝に取り組む考えは。

答 知事 本県を全国に伝えていくため、従来の枠を超えたアイデアによる広報等が重要である。私自身が初めてサーフィンを経験する模様を撮影・配信し「波旅宮崎」をアピールする等、遊び心を持った本県PRに努めているところ。